最近の昇降機納入事例

藤田　薫*

Latest Supply Record of Mitsubishi Elevator and Escalator

Kaoru Fujita

要　旨

今年，“ミッドランドスクエア”や“新丸の内ビルディング”など，各地域のランドマークとなる大規模物件が相次いで竣工した。近年昇降機は縦の移動手段としてだけではなく，建築物の一部としてよりデザイン性，機能性が求められるようになってきている。ここでは，最近のモニュメンタルビルと三菱電機がそれらのビルに納入した昇降機設備の主な特徴について述べる。

名古屋駅前に竣工した複合施設“ミッドランドスクエア”では，国内初のシースルー・大容量ダブルデッキシャトルエレベーターが設置され，上下かご合わせて66人を一度に運ぶ。また，昇降行程が長いため，風及び長周期地震動による建物揺れへの対策を行っている。東京駅丸の内側に竣工した“新丸の内ビルディング”では，オフィス用エレベーターのかご側面壁に白色LED（Light Emitting Diode）と高透過ガラスを用いた光壁の採用を実現，商業ゾーンのエレベーターはアンティークなデザインを強調した癒（いや）しの空間を演出している。東京・日比谷に竣工した名門ホテル“ザ・ペニンシュラ東京”の客室用エレベーターのかご内には天然木とガラス鏡を壁に採用し，日本の和を意識したデザインを取り入れている。

日本で初めて“特例容積率適用区域制度”を適用したオフィスビル“東京ビルディング”では，かご室とエレベーターホールでデザインを統一した空間を形成しているほか，エスカレーターもデザイン性を高めた手法を取り入れている。“成蹊大学情報図書館”の吹き抜け部に設置したインドアオープンタイプのエレベーターは，床以外をすべてガラスで構成し，シンプルな透明感を演出している。

ミッドランドスクエア

新丸の内ビルディング

ザ・ペニンシュラ東京

東京ビルディング

成蹊大学情報図書館

最近竣工した代表的な納入事例

最近竣工した代表的な昇降機納入事例を示す。近年昇降機は縦の移動手段としてだけではなく，建築物のトレンドに合わせたデザイン性や，セキュリティを中心とした機能性が求められている。

*本社